



稲刈りを待つ棚田。この風景を保存するということは、ここに暮らす人々の暮らしを守り、周囲の森林の公益的な機能を引き出すことにつながっていく。



うまくできたかな?子どもたちも棚田の田植えを体験!



棚田の石垣の補修をイベント化した「石積み教室」。地元の石垣名人が参加者にコツを伝授!

●事例の概要

- 水俣市久木野ふるさとセンター愛林館を拠点に、久木野地区の住民が一体となって、様々な事業展開を進めている。
- 館長を全国公募により選出し、棚田等の地域の財産を最大限に活かして、都市住民と地域住民が相互に利益を得られるような独自の取組みを展開している。
- 「エコロジーの原則(風土・循環・自立)に基づくむらづくり」をテーマに、水俣市の環境のまちづくりの牽引車として、また、美しい棚田の地域としてのイメージを深化・発信するなど地域の活性化・魅力増進に寄与している。

○評価のポイント

水俣市久木野地域振興会は、平成6年4月1日に発足、平成5年度に整備された水俣市久木野ふるさとセンター愛林館を拠点に、全国公募により選出した館長を中心に、久木野地区の住民が一体となって、各地の先進事例などを学びながら、寒川の水源に近いという地域特性を活かした「そうめん流し」や特産品の製造販売、各種手作り体験、環境教育、棚田コンサート、しし鍋マラソン大会といった田舎暮らしを楽しむイベントなど、久木野ならではの様々な事業展開を進めている。

これらの取組みは棚田等の地域の財産を最大限に活かして、単なる観光客として一方的にもてなすだけではない、都市住民と地域住民が相互に利益を得られるような独自の取組

みとなっており、また、山村や棚田の公益性を理解するという世論形成に力点を置いて各種の活動を展開している。このような取組みを通じ、ボランティアの造林としては日本最大級となる21ha規模での照葉樹の植樹が実施され、交流事業に参加する者の深い理解が得られることとなり、リピーターも多く、Iターン者の定住も見られている。

このように本事例は、「エコロジーの原則（風土・循環・自立）に基づくむらづくり」をテーマに、水俣市の環境のまちづくりの牽引車として、また、美しい棚田の地域としてのイメージを深化・発信している事例であり、地域の活性化・魅力増進に寄与するものとして評価された。

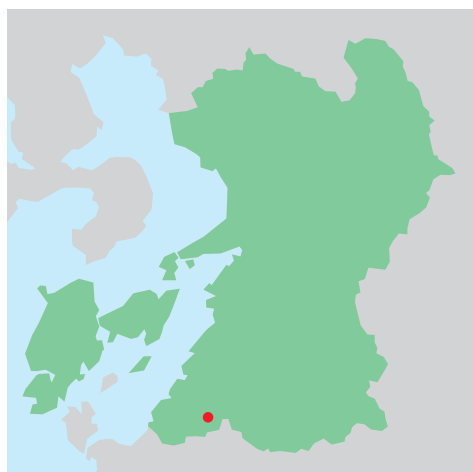


「水源の森づくり」で木を植えるボランティアのみなさん



棚田の景観と谷間でこだまする音の響きを楽しむ「棚田音楽祭」。横では炭焼き教室も開催している

ミナマタシ
熊本県 水俣市



国勢調査人口

昭和35年	昭和45年	平成2年	平成7年	平成12年
48,342	38,109	34,594	32,842	31,147

人口増減率

H12/S35	H12/S45	H7/H2	H12/H7
△35.6	△18.3	△5.1	△5.2

高齢者・若年者比率(12年)

高齢者比率	若年者比率
26.2	13.5

交通のご案内

自動車 南九州西回り自動車道田浦ICから国道3号・268号経由
鉄道 JR九州新幹線新水俣駅から25分
飛行機 鹿児島空港から自動車1時間15分

団体連絡先

名称 水俣市久木野地域振興会
所在地 〒867-0281 熊本県水俣市久木野1071-4 愛林館内
電話番号 TEL (0966) 69-0485
URL http://www7.ocn.ne.jp/~airinkan/